

木原の誇り

目の前に海が広がり、山に囲まれた木原は、自然が美しいすてきな所です。木原には、誇れることがたくさんあります。

木原ではミカンなどのかんきつ類やわけぎを栽培しています。坂道で水はけがよく日当たりも良いのでミカン作りに適しています。私の家にもミカンの木があり、ミカンをとっています。

木原の伝統といえば太鼓踊りです。この踊りは、雨ごいの踊りとして14世紀足利氏の頃から地域に代々受け継がれてきました。昭和49年に無形民俗文化財に指定され、地域の祭りでにぎやかに踊られています。

今では、この太鼓踊りを木原小学校でも受け継ぎ、運動会や学習発表会の時、全校で踊っています。梵天や鐘の音に合わせて「ソレエッサノマカヨ」と掛け声をかけながら力いっぱい踊っています。

時々地域の方に見ていただき、優しく指導してもらうこともあります。「手をしっかり跳ね上げて、たたくんよ。」熱のこもった指導にやる気がわいてきます。木原太鼓踊りは私たちの誇りです。

その他にも、学校で読み聞かせをしてくださった「フルーツ・ピアノと語りの世界」や「和楽器と語りの世界」など多くの行事に地域の方が力を貸してくださり、地域の方に支えられていると感じることがたくさんあり、とても感謝しています。

最後に、私たちが今がんばっていることを紹介します。それは「あごは」運動です。大きな声で元気よく「あいさつ」したり、クリーン活動や下校の時に「③ミ拾い」をしたり、「④き物そろえ」に気をつけたりしています。

私は、この誇れる木原をこれからも大切にしていきたい。そして、もっとすばらしい所にしていくと思っています。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
—連載第15回—

よく学んで 心を一つに

私は、船木小学校が大好きです。まず、私たち船木っ子ががんばっていることを二つ紹介します。

一つ目は、あいさつです。「いつでも、どこでも、だれにでも、大きな声で」をスローガンとして取り組んでいます。児童会があいさつ運動を行い、全校のあいさつの力を高めるようにがんばっています。みんなががんばって取り組んだので、目を合わせて元気なあいさつをすることができるようになり、学校に来られたお客様や地域の方々にも進んであいさつができる人が増えてきました。

二つ目は、無言掃除です。10分間の掃除を縦割り班で行っています。今年度は、昨年より5分掃除時間が短くなりました。そのため一学期の初めは、時間内に終わらないことが多かったのです。だけど、取りかかりを早くして無言掃除をがんばろうと決め、縦割り班でのふり返りを次に生かしながら取り組み、時間内に掃除を終わらせることができるようになってきました。

次に、船木小学校の自慢を一つ紹介します。

それは、地域の方々温かく、私たちの学習・活動に大きな力を貸してくださることです。私たち6年生でいえば、総合的な学習の時間において、船木の古墳や遺跡について教えていただき、フィールドワークにも連れて行っていたきました。船木の歴史を学んで、私はさらに船木が好きになりました。また、水墨画・生け花・茶の湯などの室町文化体験の他にも地域の方々指導してくださいました。これは、6年生だけでなく、どの学年も、地域の方々から教わりながら学習を深めています。

私たちは、地域の方々に支えていただいていることに感謝しながら、これからも大すきな船木小学校でしっかり学び、友達と心を一つにして船木小学校をより良くしていきます。

